

《 令和4年度中村鯨城会 講演会 》

行事委員長 松本 博子

昨年12月23日、34名の方に出席いただき講演会を開催いたしました。8月5日に開催予定でしたがコロナ7波の影響で延期していた行事でした。



前半は「お腹の健康」を名古屋ヤクルト販売 管理栄養士 大塚千恵さんに講演をしていただきました。腸内細菌は良い菌・悪い菌の割合を2:1に保つことが理想で、バランスが崩れると癌・糖尿病・肥満・動脈硬化・認知症・うつ病にまで影響すること、改善の為にはバランスの良い食事は勿論だが、大きな役割をするのが乳酸菌であり、シロタ株は

小腸で働き、ビフィズス菌は大腸で働くこと、お腹の元気は便（ウンチ）で分かることを詳しくイラストで示していただき、楽しく学ぶことが出来ました。講義は分かり易く、クイズ、体操なども交えてあっという間の1時間でした。



後半は、「後藤新平」を25期の杉浦弘さんに講演をしていただきました。昨年、中央ブロックで勉強会を企画されたのですが、コロナ感染増大の為中止、その後、8月の講演会も延期となり、3度目にやっと講演が実現できました。

「後藤新平」は医師・官僚・政治家として、1894年日清戦争からの帰還兵のコレラ検疫を迅速に行い、その感染対策は世界から評価されました。その後、台湾統治・中国満鉄総裁として、インフラ整備、衛生施設の拡充などを行い、関東大震災後の復興にも素晴らしい業績を残しています。

生涯情熱を持って無私の精神で日本の発展に貢献した「後藤新平」は、今の日本の政治家の多くの問題やこの3年間のコロナ感染対策をなんと言うのでしょうか。現代版「後藤新平」に現れて欲しいと願うばかりです。内容の濃い講演でした。杉浦 弘さんありがとうございました。

後藤新平  
何した人？



コロナ感染対策の為、窓を開放していた為に、会場が寒くてご迷惑をお掛けしましたが、最後まで熱心に聞いていただき有難うございました。